

甲斐市立玉幡小学校 令和3年度 学校だより 第20号



チーム玉幡

令和4年3月8日 文責：小林 正彦

安全を第一に考え 子どもたちの達成感を！

2月は新型コロナウイルスの影響で、学級閉鎖・学年閉鎖・臨時休校の措置を急遽とらせていただきました。保護者の皆様方には、多大なるご迷惑とご心配をおかけし、本当に申し訳ありませんでした。通知にも書かせていただきましたが、感染症対策を再度確認・徹底し、子どもたちの安全を第一に取り組んでいきたいと思っております。今後、「新山梨方式」に則り、検査をお願いすることがあるかもしれませんが、ご協力をよろしくお願いいたします。

臨時休校あけの初日には、臨時の全校集会をテレビ放送で行いました。心配させてしまった子どもたちに直接謝り、感染対策を継続して取り組んでいくことを話しました。また、不安な気持ちに負けないように「笑顔」で学校生活を送ること、感染した人たちに対しては優しい気持ちで静かに見守ることもお願いしました。（学級閉鎖中だった5年1組には、閉鎖あけの初日に、教室で話をさせてもらいました）私の話の後には、養護教諭が感染症対策についてのより具体的な話をしました。全校集会後には、各担任が、子どもたちの気持ちにより添いながら直接話をすると共に、感染対策を再確認しました。今後も、全職員が一丸となって、子どもたちが安心して安全に活動し、一人一人が達成感を得られる活動を計画していこうと思っております。

各教室の様子



より充実した活動を目指して

今の状況では、学校行事にも特別な配慮が必要になってきます。3学期に予定されていた「児童総会」は、端末を利用して、オンライン会議のような話し合いを行いました。画面を通しての交流になりましたが、事前の話し合いをしっかりと行い、自分たちの意見や考えをしっかりと発言していました。



「6年生を送る会」は2月25日（金）に行う予定でしたが、3月16日（水）に延期しました。「6年生を送る会」という行事は、在校生が6年生に感謝の気持ちを伝える行事であり、5年生にとっては、最上級生を迎えるための大切な行事です。今のコロナウイルスの状況では、体育館に全員が集まることはできません。テレビ放送を活用しての実施になりますが、在校生の思いをしっかりと伝えられるように、5年生を中心に頑張ってくれています。

また、「卒業式」においても、感染対策をより徹底したかたちで実施します。「6年生を送る会」もそうですが、今の状況では、感染リスクの高い「合唱」を行うことはできません。また、多くの人が集まる行事は、できるだけ短時間での実施が求められています。そんな状況下での卒業式ですが、卒業生にとっては、とても大切な行事です。最後の授業参観として、一人一人の成長をご覧いただける内容を考えてきました。保護者の皆様方には、式へ

の参加に向けて感染対策のご協力もお願いしていますが、6年生児童にとって、良い思い出となる卒業式となるように、全職員で取り組んでいきますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

しっかりとした締めくくりを

いつの間にか、冬に葉を落とした木々の芽がふくらんできました。あと半月もすると、校庭の桜が満開になることでしょう。人間が見ていようと見てまいと、植物はいつの間にか花を咲かせてくれます。人間も、毎年、年齢を積み重ねていきますが、今やるべきことを頑張ることで、更に自分をひと回りもふた回りも大きくしていくことができます。

1年生にとっては初めての進級、6年生にとっては初めての進学を迎えるための大切な3月です。入学した頃はできないことや分からないことがたくさんあった1年生も、いつの間にか、背丈が伸び、いろいろなことができるようになってきました。子どもたちが友だちと一緒に一生懸命努力したからだと思います。他の学年の子どもたちも、努力を積み重ねることで、少しずつ成長してきたはず。この成長をいっしょに喜び合うことが、とても大切なことだと思います。

子どもたち一人一人が自分のがんばりを認めてもらえること、その達成感が次の成長へとつながっていきます。上の学年になったら、こんなことを知りたい、こんなことをやってみたいという目標を持てることにつながっていきます。

そんな締めくくりになる年度末が迎えられるように、子どもたち一人一人と向き合っていきたいと思っています。感染対策ではいろいろな制約もありますが、年度末の大切な時間を、子どもたちのために頑張りますので、今後ご協力をよろしくお願いいたします。

